

飯山市地方創生総合戦略会議（第1回）顛末（要旨）

日時 平成27年7月6日（月） 15時～

場所 飯山市役所第3・第4委員会室

1 開会（進行：企画財政課長）

2 市長あいさつ

- ・ご多用のところ初回の会議にご出席いただき心から感謝申し上げたい。
- ・昨年国において「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、地方でも地方創生のための計画づくりが求められているところであり、どうやって人口減少を食い止めるか。仕事（雇用の場）をつくるか、活力ある地域づくりをどのように進めるかという3点をセットにして実現性のある計画を検討していく必要がある。
- ・この会議には、経営者、有識者、金融機関、若者会議委員、女性、高校生など様々な分野の方にお集まりいただいている。また、市役所の部長級の職員も交えて検討を進めてまいりたい。
- ・本市の総合戦略は、本年10月末頃を策定の目途としている。極めて短い期間ではあるが、この会議と並行して分野別の関係者等と個別に懇談会形式でご意見、提案等をお伺いして案を練っていきたいと考えている。
- ・飯山市は本年3月に北陸新幹線飯山駅が開業した。本年はいわば飯山新時代の元年にあたる。1,700以上ある全国の市町村の中でいわゆるミニ新幹線以外の新幹線駅があるのは89市町村しかない。この特徴、メリットを活用し、追い風にして、将来性のある飯山市に住んでみたいと思わせる魅力づくりを進めたい。

3 飯山市地方創生総合戦略会議について

(1) 自己紹介（資料1）

(2) 飯山市地方創生総合戦略会議設置要綱について（資料2）（事務局説明）

（事務局）副会長は要綱で会長指名によるものとされている。八十二銀行飯山支店長の萩原秀治様をお願いしたい。

（萩原委員）了承

4 協議事項（進行：会長）

(1) まち・ひと・しごと創生について（資料3・資料4・資料5）

（事務局）資料説明

（委員）国とすると海外からの移民については、どのように考えているのか。日本の中で、国内での人の取りあいになることになるのではないかと考える。

（市長）海外からの移民という施策は、まったくゼロということではないが、実際には、非常に課題があると思う。

（委員）東京一極集中というのを解消して、この解消のなかで、飯山市が他の地域から受入れがあって、さらに出生率の上げていく、人の流れを変えていくことが必要なのではないかと考える。

（市長）現実的な計画を作るということであるので、外国から移民を受け入れるというよりは、国内のことを考え計画していきたい。

(市 長) 飯山市の人口、人の動きとして、高校の卒業後、大学等に行きその後やりたい仕事がなく戻ってこない。というパターンが続いている。豪雪地域で、企業立地が進んでいない。また、高齢者の方々が年齢を重ねると生活が大変になってくるということ等あると思うが、人口の分析を進めることで原因をしっかりとつかんで、対応をしていくこととなる。

(2) 飯山市人口ビジョン・飯山市総合戦略策定方針について (資料6)

(事務局) 資料説明

(市 長) 策定目途から勘案し、今後の戦略会議の回数は決まってくるので戦略会議を開催する間で、それぞれ意見を出していただくことが必要となる。

(市 長) 人口ビジョンについては、推計期間については、平成52年(2040年)を目途とした人口ビジョンを策定することとする。また、人口ビジョンのパターンを5パターン程度作成し、そのためにはどのような施策をどのくらい実施することが必要となるのか等、庁内でシミュレーションを作成し、次回の会議に情報提供をする形にしていきたい。

(委 員) 検討する期間が短いので、例えばマスコミ関係、テレビ、新聞社の方を委員にいれてもよいのではないか。

(市 長) 大学の先生等もいらっしゃるので、まずは、この委員さんでやってみよう。

(3) 人口動向について (資料7)

(事務局) 資料説明

(4) 転出者アンケートについて (資料8)

(事務局) 資料説明

(市 長) 市外への就職、転職した人がどのくらいいるのかなど人口減少の要因を更に分析していく必要がある。

(5) 質疑・意見交換

(市 長) 長野県の取組状況はどうか。

(委 員) 7月中には素案が出るように聞いている。

(委 員) 転出者のデータの中で60歳代以上の転出が多いのはなぜか。

(事務局) 施設への入所のため転出という方が多い。もちろん、同様の目的での転入もあるが、周辺の高齢者施設への転出の方が多いため、全体として転出超過ということになるというのが実態である。

(委 員) 転出者のデータの中で、転出者の職業で公務員が多い。教員が多いと思うが、要は公務員の仕事があるということ。ということは、教員でいえば、ここにこれだけの仕事があるが、この出身者で、教員になっている方が少ないということではないか。地域に暮らすような、教員として働く場もあるとうことでもあるのではと思う。県内での教員の居住地の格差があり、教員が多く住む地域もあるので、この地域で教員となってもらい住んでいただくのもよいと感じた。

(6) 今後の予定について

(市 長) それぞれの分野での懇談会(金融、産業等)の開催を別に計画している。庁内本部では人口ビジョンについて委員の皆様にご意見を伺っていただく資料

(たたき台) を5パターン程度作成したい。次回ご提示できればと考えている。

(7) その他

(市長) 各委員さんから、こんなような仕事、新たな仕事、雇用創出、ビジネスアイデア等出していただき、意見交換をしていきたい。仕事がないと、若い方に住んでいただけない。雇用創出が一つの大きなポイントだと考えている。このような仕事があると良いなど、どんな意見でも良い。また、女性の立場から見てという意見も出していただき、懇談もさせていただきたい。移住・定住についてもアイデアをいただきたい。アイデアや意見は、この総合戦略会議の会議をやる間に出していただき、それを戦略会議で検討していきたい。

(委員) 人口の減少の資料を見ると、このままでは飯山市大丈夫か心配である。学校で進路の話をする、結構飯山に帰ってきたいという生徒いるが、自分のやりたい仕事・職業がないので、帰ってこられないという生徒が結構いる。アパレル関係の希望等結構あるが、飯山ではなく、長野の方へ行ってしまう。高校生主体で出来る活動があればよいと思う。

(委員) 飯山市は、具体的にどのような政策をしていくのかが今日の会議ではわからなかった。将来の飯山市はどのようなことをしていくのか、具体的なことを知りたい。既に外へ出てしまった方よりも、今の高校生をターゲットにして、飯山市にもっと興味をもってもらえるようにするのが良いと思う。会議のメンバーは、もっと若い方を沢山入れてもらえばもっと良いと思う。

(市長) 現実的な部分、実現性を求められる計画ではあるが、若いアイデアをどんどん出していただきたい。

(市長) 自治体間でのアイデア合戦という一面もあるので、飯山市として全力で取り組んでいきたい。議論を重ねることで良いアイデアが出てくると思う。次回は、人口ビジョンのパターンもお示ししたい。その間に各分野での懇談を行い次回はもっと詰まった議論を行っていきたい。

(事務局) 次回は7月中の開催で調整し、通知する。

5 その他 (なし)

6 閉会 (17:00 終了)

[出席者：23人]